

令和7年8月19日

部農会長・部農会会員の皆様へ

J A ふ じ 伊 豆
韮山営農経済センター

第7回 (8/19号)

水稻病虫害発生予察の結果について

① 生育状況

生育状況は昨年と同様に前進傾向が見られます。

韮山地区の多田、奈古谷、寺家、中、長岡地区の江間、大仁地区の白山堂は、今週末にかけて穂が見えてくる見込みです。また原木の調査圃場では10日前後で出穂する見込みです。

長岡地区の小坂や天野では出穂が始まっており、大仁地区の神島では開花期に入っていました。

山間地の田原野では固熟期に入っており、浮橋では生育が少し早く黄熟期に入っていました。

② 病虫害状況

今回の調査では共同防除の効果もあり、ウンカ類やヨコバイ類の発生量は昨年と比べても少なく推移しております。共同防除をしていない圃場に関しては、圃場内のウンカ類やヨコバイ類の発生状況を確認していただき、必要に応じて防除をお願いします。

今年度は全国的にもカメムシの発生が多く県内でも多発生している地区もありますので、出穂後の薬剤防除、出穂前の圃場では周辺の草刈りをご検討下さい。出穂後の周辺の草刈りは、圃場にカメムシが逃げ込んでしまう危険があります。

殺虫剤

○スタークル粒剤 3kg/10a 3,660円/1袋 (3kg)

時 期：出穂期～出穂10日頃

備 考：上記時期はカメムシの散布適期です。秋ウンカもこの頃に密度が増加してきます。カメムシ対策も兼ねてこの時期に散布を推奨します。
3cm程度の湛水状態で散布し、4～5日間は湛水状態を保つようにし、散布後7日間は落水やかけ流しをしないようにしましょう。

○トレボン粉剤DL 3～4kg/10a 1,400円/1袋 (3kg)

時 期：収穫7日前まで

備 考：ウンカ類、ヨコバイ類、イナゴ類、カメムシ類

秋ウンカに対して散布する場合は、株元に掛かるように行う。

※商品の値段は全て税込表示です

問い合わせ：韮山営農経済センター 佐藤 055-949-0055

※JAふじ伊豆ホームページでも確認頂けます。

※FM伊豆の国でも朝・昼放送を開始しました。